

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学類等	科目名	担当教員	単位数	教員の实務経験の有無
基盤教育	健康運動科学実習	佐藤 浩明(非)	1	久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。
基盤教育	中国語基礎Ⅰ	金 敬雄	1	日中両言語の通訳、翻訳の経験がある。中国語の読解、中日対訳、コミュニケーション要領などに生かしていきたい。
基盤教育	日本国憲法	二瓶 由美子(非)	2	予備校における小論文指導の経験を有するため、論理的な記述力涵養に貢献できる。金融機関の社外取締役役に就任しているため、社会人基礎力養成と対話力涵養を意識している。
基盤教育	食品の機能	熊谷 武久	2	前職の食品会社研究・管理職としての経験を活かし、基礎と応用を意識した講義をします。
基盤教育	知的財産の基礎知識	横島 善子	2	特許庁で特許審査官として特許審査の実務を担当したほか、弁理士として他大学で特許関連実務を担当後、本学で現在、知的財産全般に関する実務を担当している。また、民間企業で研究職として技術開発（及び自己が成した発明の特許取得等）に携わった実務経験もあり、これらの実務経験を生かして、事例に基づいてわかりやすい特許・著作・商標等知的財産全般の授業を行う。
基盤教育	データサイエンス実践演習	加藤 穂高	2	担当教員は民間シンクタンクでコンサルタントとして、社会福祉・まちづくりなどの案件に従事してきた。本授業では、その経験を生かし、指導を行う。
基盤教育	むらの大学Ⅰ	前川 直哉	2	担当教員はNPO活動等を通じ、地域課題解決の取組みや自治体・企業・学校等との協働を行ってきた。本授業ではその経験を活かし、学生を指導する。
基盤教育	精神疾患とその治療	片山 規央	2	本科目の担当教員は、精神科専門医・指導医として児童・思春期～成人～老年期に至るまでの幅広い精神疾患の診療に長年数多くあたってきた。講義では教科書的な知識のみならず、臨床場面での経験談も交えて、疾患や治療について、より理解が深まるよう努めている。
人間発達文化学類	子どもの生活と遊び	宗形 潤子	2	実務経験：小学校教員18年（低学年担任6年）指導主事2年を生かし、学校現場の実態や現状について伝え、より実践的な学びとなるよう支援する。
人間発達文化学類	子どもの造形活動	渡部 憲生	2	小学校教員としての実務経験を生かし、学校現場の現状や児童の実態等を踏まえた指導方法の工夫改善の視点、授業で扱う材料・用具の扱い方の要諦等について具体的に指導する。
人間発達文化学類	社会科学学習指導論	渡邊 健順	2	中学校教諭、教員研修機関での実務経験及び中学校での学校経営の経験を生かし、指導技術や教材開発について具体的に指導する。
人間発達文化学類	家庭科教育法Ⅲ	瀬谷 真理子(非)	2	全国高等学校長協会家庭部会副理事長・全国高等学校家庭科教育振興会常務理事及び福島県立高等学校長協会家庭部会会長を務め、家庭科教育の振興に努めてきた経験や、長年にわたり家庭科教育、教職に携わってきた経験を生かし、学生の学びに寄り添うとともに教員養成に尽力したい。
人間発達文化学類	生徒指導・教育相談の基礎	中野 真悟	2	公立の小学校・中学校で勤務した経験を活かし、知的理解に終始することなく、教育現場の実態を踏まえた指導の在り方を考察できるようにする。
人間発達文化学類	教育相談	岸 竜馬	2	スクールカウンセラー、公認心理師・臨床心理士としての実務経験を授業内容に反映させる。
行政政策学類	社会福祉論（行政）	松本 喜一(非)	2	精神科病院や介護保険施設でのソーシャルワーク、障がい者や高齢者虐待対応、成年後見制度、法テラス活動などを授業で報告します。また「福島県社会福祉士会」の活動内容についても報告します。
行政政策学類	社会計画論	岩崎 由美子	2	JA系統組織のシンクタンクでの勤務経験をもとに、農山村地域での実態調査や報告書の取りまとめ方、ワークショップの運営方法等についても講義を行う。
行政政策学類	博物館展示論	渡邊 智裕(非)	2	福島県歴史資料館で学芸員の実務経験が25年以上あり、資料の整理や展示などを担当している実務体験に基づき、現場での実践例や問題点についても言及し、博物館展示論の講義に具体性を持たせる。
行政政策学類	労働法Ⅱ	原 昌登(非)	2	国の審議会（労働政策審議会）の委員や自治体の会議体の委員として、実際の法改正や条例制定に関する議論に参加した経験をもっています。そうした経験を、授業における立法・法改正に関する解説等に活かします。
経済経営学類	入門マクロ経済学	石川 大輔	2	国際通貨基金（IMF）と財務省での実務経験に基づいて、授業ではマクロ経済学が現実の経済政策と密接につながっていることを伝えていきたいと考えています。
経済経営学類	地域と経済	吉田 樹	2	国や地方公共団体の交通、観光分野の各種委員会委員への参画、公共交通事業者や観光、商工関連団体とのプロジェクトにも数多く取り組んできた経験を本講義に紹介する具体事例に活用する。
経済経営学類	経営情報分析	根建 晶寛	2	前職の金融機関における業務経験及び過去に在籍していた非常勤先の会計専門職大学院での論文指導講座の経験をふまえて経営情報分析の講義を担当します。
経済経営学類	原価計算Ⅰ	高橋 宏和	2	公認会計士・税理士として複数の企業の会計監査・税務申告を行っており、企業に対して日常的に原価計算のレクチャー・アドバイスをを行っている。
共生システム理工学類	生産管理概論	笈 宗徳	2	製造業等の技術指導、人材教育を行っており、授業に一部取り入れている。
共生システム理工学類	経営情報システム	董 彦文	2	多数の企業において情報システムの開発に携わってきたので、実用上の有用性も重視し、授業を進める。
共生システム理工学類	経営工学	石川 友保	2	製造業やシンクタンクでの勤務経験を有する
共生システム理工学類	地下水盆管理学	柴崎 直明	2	福島大学赴任前に民間コンサルタント会社で経験した地下水業務（国内、海外）の経験を活かし、実際の地下水調査や地下水盆管理の方法を授業で紹介する。
食農学類	農業経営学	福田 洋介	2	農林水産省職員として、農業経営の安定化に向け、東日本大震災の被害を受けた農業者に対し日本政策金融公庫等が融資する際の償還期限の3年延長、物価高騰等により農業経営上の影響を受けた農業者に対し日本政策金融公庫等が無利子で融資する施策に取り組んだ経験を有する。
食農学類	栽培学汎論	渡邊 芳倫	2	・JABEE（日本技術者教育認定機構）における各種委員とプログラム審査 ・農学教育推進委員会における各種委員
食農学類	協同組合学	小山 良太	2	株式会社マルシェF代表取締役社長を兼務し、福島県産農産物の6次産業化促進と新規市場開拓、マーケティングを実施。
食農学類	土壌物理学	原田 茂樹	2	国立環境研究所での水士環境環境部・地球環境研究グループでの研究員・主任研究員としての活動の他、鳥根県中山間地研究センターでの客員研究員としての活動を行っている。
食農学類	農業簿記論	吉田 利彦(非)	2	全講師が税理士で実務の経験を有している。